

第49回「議員と語ろかい」報告書

総務環境常任委員会(No.1)

開催日	令和7年5月13日（火曜日） 18時00分 ～ 19時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟3階 全員協議会室		
団体名	個人参加	参加人員	16人 (男5人：女11人)
出席議員	今吉直樹、久木田大和、植山太介、竹下智行、川窪幸治、鈴木てるみ、阿多己清、前川原正人		
役割分担	班長（今吉直樹）、 副班長（久木田大和）、 記録係（植山太介）		
テーマ及び 具体的な内容	みんなで語ろう！霧島のスポーツ文化芸術の可能性		

意見 交換 で の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆霧島市でも経済効果のあるエンタメがつくりたい。小さいころからエンタメに触れられる環境がつくりたい。そこで、300人キャパ程度の劇場や演劇ができる環境を整えたステージがいずれできればいいと思う。ミュージカルを観光に繋げていきたい。行政とタッグを組んだ取組を行いたい。
	◇地元でも劇団を立ち上げて活動を行っているようだが、現状はどうか。
	◆結論から言うと演劇だけでは成り立たない。しかし観光など他の業種とタッグを組めば十分にやっていけると思う。SNSのコンサルやクラウドファンディングなど活動費をつくる知識を増やす活動も行っている。
	◆相撲を活かしたまちづくりに取り組めばどうか。神社や温泉などを活用して老若男女問わず交流ができれば良いと思う。
	◇3年前に相撲クラブを立ち上げた。宮相撲や十五夜の減少などがあるが、祈祷相撲大会など、少しずつ活動の幅を増やし、市としても相撲文化を見直してほしい。

意見交換での主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆隼人温水プールの休止は残念で仕方がない。桝志田プールに行っているが利便性も悪いし、利用者が多く水泳教室など予約の取れないこともある。ぜひ隼人温水プールを再開してほしい。
	◆プール文化の発信、泳ぐだけでなく、水に入るだけでリラックス効果や体調改善効果、自分の身を守るなど多くの活用ができる。その活用の広報にも力を入れてほしい。また、桝志田プールの天井はガラスのため日差しが痛い。改善を求める。
	◆桝志田屋外プールを通年利用可にできないのか。
	◇隼人温水プールについては、知人の1級建築士によると今の技術的には改修工事は無理でないと聞いた。鉄骨は老朽化が著しいが水槽部分はまだ使えるようである。市民の方がこれだけ望んでいる施設であるので、廃止ありきではなく残す方向でも検討すべきだと考える。桝志田プールも学校等が利用すると利用できない方々が出てくるのではないかと。先ほどあったように屋外プール等も活用して、気を配った対応が必要である。
	◇桝志田プールでの水泳教室の利用にあたり、時間枠を押さえることはできないか。
	◆年間予約を出す、6レーン中2レーンのみ団体利用である。6月からは学校利用があり、午前中の利用はできないという。また夏場はキャパオーバーで夏場の教室はできない。桝志田プールは大渋滞である。
	◆今まで医師会医療センターへ、絵画教室として25年間絵を飾ってきた。しかし、新病棟となってからはそれができなくなり、今年の3月に全ての絵を撤去された。対応に疑問を感じる。どこか飾れるところはないのか。市の施設にも飾れる所があれば、描く側としてもやりがいになる。
	◇他の病院や福祉施設、高齢者施設など市内にも数多くある。設置しやすい提案も含めて連携がとれたらお互いに良い取組になると感じた。
	◆国分中央高校のスポーツ健康科は県内でも最も成功した学校の1つだと思う。公立高校なので何も手を付けなければおそらく衰退していく。市立高校だからできることがある。これからは特に指導者の人材確保が重要になってくると考える。市で指導者を雇用したりなど、新たな考えが必要であると思う。また鹿児島県で開催される「おいどんリーグ」という野球の取組に霧島市は参加をしていない。7億2千万円の経済効果があったと言われている。そのような事にも目を向けてほしい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆ここ霧島から世界にいきたいと思う若者達をさらにサポートする霧島市であってほしい。

◆青葉の笛の承継に努めている。生徒に手作りした笛をプレゼントし、小学校の授業等で活動をしている。この活動を通し2年前に文化庁の事業で取り上げて頂いた。霧島市にもバックアップして頂いた。感謝申し上げたい。

◆ネットだけでは知れないリアルな現場の実情を掴みに参加をした。塾の勉強だけでは心が育たないという現状にぶちあたっている。今回の対話を参考に自分たちにできることを考えていきたい。

意見交換での主な意見等